

白山市立蕪城小学校

校長だより

No. 4

令和8年度 5月13日



学校教育目標

自ら学び、心豊かで、たくましい児童の育成
～ みんなが元気 みんなで前進 ～

めざす児童像

「自ら関わり学ぶ子」

「やさしく思いやりのある子」

「力いっぱい活動する子」

地域、保護者の皆様とともに！

ご承知の通り、学校運営協議会制度を持つ学校のことをコミュニティースクールと呼びますが、本校は今年5年目を迎えました。先日、第1回の会議が開催され、学校運営計画の承認等が行われました。コミュニティースクールの推進については、今後の白山市の教育において、目指す姿と各種施策の方向性が示された「第2次白山市教育振興基本計画」（令和7年3月策定）の中でも、記載されています。



その方向性として、『学校が保護者や地域住民等と教育目標やビジョンを共有し、その理解・協力を得ながら学校運営を行うことで、家庭・学校・地域等が一体となって子どもたちを育む』としています。今後、委員の皆様からは、保護者の皆様にもご協力頂く「**学校評価**」に係る学校の取組やその進捗状況等にご助言頂くことになっています。

また、本協議会では学校課題だけではなく、**学校と地域の共通課題に地域と学校が一体となって取り組むことも求められており、本校においては「地域での挨拶」を課題として設定しています。**今後、委員の皆様には学校の取組への助言やアイデアを頂くこととしています。一方、先日の蕪城っ子見守り隊定期総会において、藤田隊長から地域の子供を地域が見守り、育てようという見守り隊の発足趣旨に続いて、子どもたちに「おはよう」「おかえり」と声をかけ、挨拶ができる子にしていこうというお話があり、大変心強く感じました。保護者の皆様からもお力添えを頂き、家庭・学校・地域が一体となって挨拶で溢れる地域となるよう取り組んでいきましょう。

食育

白山市では子どもたちの豊かな感性や健やかな体を育むため、「食育」を推進しています。「食育」では、食について学び、良好な食事の環境を整えることで、食べるだけでなく食の安全や自分の健康について興味関心を持つこと、望ましい生活習慣を維持し、豊かな食材を育む郷土の自然や人への感謝の気持ちを育むことが大切だとされています。

改めて考えてみますと、動植物の命を頂いていること、食材を届けてくれていること、安全・安心な給食を作っていること等、多くの人たちの協力のもと給食が提供されています。命を頂いている動植物や、生産・搬送・献立・調理に携わる人たちへの感謝の気持ちをもって食べることを、身につけさせていきたいものです。



先月は、旬の味覚のちらし寿司に地元で採れた新鮮なたけのこが使用されました。児童は、味だけではなく、「しゃきつ」とした歯ごたえも楽しんでいました。生産地が近いため、食材が新鮮でおいしい「地産地消」の良さや調理員さんが手間暇をかけて準備してくださることも感じられたようです。また、自身のたけのこ掘りの様子を話す児童もあり、楽しい給食の時間となりました。